

令和4年度

清瀬市平和祈念展等実行委員会

事業報告書

清瀬市平和祈念展等実行委員会

1 事業の概要

昭和 57（1982）年 9 月の清瀬市議会で「非核清瀬市宣言」が議決され、今年で 40 年目となりました。清瀬市では、昭和 61（1986）年度から実施してきた平和祈念展を平成 18（2006）年度より企画の段階から市民の参加を得ることにより、市民と市の協働による新たな平和祈念展とするため、市民公募委員で組織する清瀬市平和祈念展等実行委員会が設置され、企画が進められました。

令和 4（2022）年度の実行委員会では、これまでに開催した『平和祈念フェスタ in 清瀬』の企画等を参考に、実行委員会を開催し、コロナ禍においても『平和祈念フェスタ in 清瀬』を開催できるよう企画しました。広島・長崎に原爆が投下された 8 月の開催は感染対策のため講演会は中止としましたが、原爆関連の展示会を開催しました。12 月には中央児童館（ころぼっくる）で子どもを対象として上映会を開催しました。3 月には、東京大空襲関連の写真パネルや核兵器禁止条約関連などの展示会を市役所 1 階とクレアビル 4 階（クレアギャラリー）の 2 か所で開催し、アミューホールで講演会を開催しました。講演会では歌手の佐藤真子さんによるピアノ弾き語り、講演では加藤秀一さんにウクライナ現地で撮影された写真を交えながら、現地の過酷な現状をお話ししていただきました。また、アミューホール入り口に三多摩青年合唱団にご協力いただきウクライナ関連の写真や資料を展示しました。三多摩青年合唱団の方には合唱も披露していただきました。

今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に加えロシアによるウクライナ侵攻から 1 年が経過し、不安定な社会情勢でしたが、清瀬市平和祈念展等実行委員会は展示会や映画会などの事業を通じ来場者のみなさんへ戦争の悲惨さ、平和の大切さ、人命の尊さを伝え、世界の恒久平和を次世代へ引き継ぐための活動を行いました。

『平和祈念フェスタ in 清瀬』の開催は、実行委員だけでなく、文化行事や講演会でご出演いただいたみなさん、展示会に資料をお貸しいただいたみなさん、各会場に参加いただいた来場者のみなさんの平和希求への想いに支えられたものであることを報告します。

非核清瀬市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願いである。

我々は、世界で唯一の被爆国民として、被爆の恐ろしさ、被爆者の苦しみを、声を大にして全世界の人々に訴え、再び「広島」・「長崎」のあの惨禍を繰り返させてはならない。

我々は、非核三原則（造らず、持たず、持ち込ませず）が完全に守られることを願い、すべての核保有国に対し、核兵器の廃絶と軍縮を求め、いかなる国の、いかなる核兵器も、わが清瀬市内に配備・貯蔵することはもとより、配備訓練、空中輸送、核部隊の通過も許さない。

我々は、核攻撃の目標となるおそれのある施設の撤去に努め、いかなる理由があろうとも、新たに設けることを認めず、疑わしき施設の実態把握と公表に努めることを宣言する。

昭和 57 年 9 月 29 日

清瀬市議会

THE NON-NUCLEAR DECLARATION OF KIYOSE CITY

Eternal world peace is a desire common to all mankind.

As the only nation who has been atom -bombed ,we must testify to the terror of the atomic bomb attack and the suffering of atomic bomb victims to the people all over the world in a loud voice, and we must not allow the terrible disasters in 'Hiroshima' and 'Nagasaki' to be repeated.

We wish for the complete observance of the three non-nuclear principles (not to manufacture, possess, or introduce nuclear weapons) , demand the abolition of nuclear weapons and the disarmament of all nuclear powers, and we will never allow the deployment, training or air transport of any nuclear weapons of any country, or passage of any nuclear unit, let alone their deployment and storage in Kiyose City.

We declare that we will endeavor to remove the facilities likely to be target of nuclear attack .And we will not allow such facilities to be built for any reason. Furthermore, we will investigate and make public the actual condition of the suspicious facilities.

September 29, 1982

Kiyose City Council

2 清瀬市平和祈念展等実行委員会の開催

第1回実行委員会	令和4年5月26日
第2回実行委員会	令和4年6月16日
第3回実行委員会	令和4年7月21日
第4回実行委員会	令和4年9月29日
第5回実行委員会	令和4年10月20日
第6回実行委員会	令和4年11月7日
第7回実行委員会	令和5年1月12日
第8回実行委員会	令和5年2月8日
第9回実行委員会	令和5年2月28日
第10回実行委員会	令和5年4月13日

3 令和4年度の活動

(1) 平和祈念フェスタ in 清瀬 (8月)

ア 展示会について

(ア) 開催日等

令和4年8月2日(火)から8月14日(日)まで
クレア4階クレアギャラリー及び市役所市民交流スペース

(イ) 内容

- ①「ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間」パネル
- ②「清瀬と戦争」パネル
- ③「核兵器禁止条約批准関連」パネル
- ④「大和田通信基地(写真・資料)」パネル
- ⑤「非核清瀬市宣言」パネル
- ⑥ウクライナ関連イラスト・写真

イ 講演会について

(ア) 開催日等

令和4年8月11日(木)

アミューホール

(イ) 内容

- ①学生委員とピース・エンジェルズとの対談
- ②講演会

※開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした

(2) 上映会

ア 開催日等

令和4年12月10日(土)午後1時00分から午後4時30分
児童センター

イ 内容

アニメーション映画 2作品

「つるにのって とも子の冒険」、「ガラスのうさぎ」

(3) 平和祈念フェスタ in 清瀬 2023 (3月)

ア 展示会

(ア) 開催日等

令和5年3月6日(月)から19日(日)まで
クリアギャラリー及び市役所市民交流スペース

(イ) 内容

①東京大空襲関連パネル

②パネル「清瀬と戦争」

③ウクライナ関連のイラスト・写真(提供:有原誠二、三多摩青年合唱団)

イ 講演会

(ア) 開催日等

令和5年3月18日(土)午後1時開場 午後1時30分開会
アミューホール

(イ) 内容

①コンサート(ピアノでの弾き語り)

出演 歌手 佐藤真子

楽曲 ・一本の鉛筆

・死んだ女の子

・惜別の歌

・君死にたもふことなかれ

・リリーマルレーン

・鳥の歌

②講演「ウクライナは今」

講師 一般社団法人 EPU 代表理事 加藤秀一

ウクライナ現地で撮影された写真を交え、現地の過酷な現状を話す。

三多摩青年合唱団による合唱

③会場展示

ウクライナ関連の写真や資料（提供：加藤秀一、三多摩青年合唱団）

④募金活動

三多摩青年合唱団主催による止血帯の購入など人道支援のための募金
募金額 51,157 円

（４）戦争体験者の記録

清瀬市在住の戦争体験者の方からお話をきき、語り部としてご協力いただくよう調整したが、記録を作成できなかった。

令和５年度に向けて調整を進めた。

（５）冊子「清瀬と戦争」の改訂

ア 冊子に掲載している記事や写真等の見直しについて検討した。

イ 小中学生にもわかりやすい冊子を学生委員中心に作成することを決定した。

令和５年度に作成できるよう学生委員及び事務局で検討した。

（６）予算

執行額 181,459円

（７）その他

平和祈念フェスタ in 清瀬・上映会で高校生、大学生委員が司会等の役割を担い、参加者に若い世代の活躍を周知することができた。